

お世話になった教室を大掃除

1学期終業式前日の19日(木)、日課程の生徒による教室内の大掃除が行われた。自分達の教室を自分達の手できれいに掃除することは、学期の節目として大事な学習だ。

大掃除の仕方に工夫あり

大掃除は、床の一部をホワイトテープで囲い、床にまかれた濡れ新聞をそこに集めるようにした。こうすることで、生徒が濡れ新聞をどこに集めたらよいのかが一目で分かるというメリットがあるからだ。

一般的に「ごみを集めて」というだけの口頭指示は具体性に欠ける。このため、生徒は、「どこにごみを集めればよいのか分からない状態」となってしまうことも多い。

教室の床面にこうした視覚的構造化の手法を取り入れることで、生徒たちはすべきことをすぐに理解し、黙々と掃除に取り組んでいた。



ホワイトテープに囲まれた部分にごみを集める生徒

暑く長い夏休みが始まる

20日(金)、平成30年度の第1学期が終了し、44日間の長い夏休みがはじまった。7月は驚異的な大雨と連日の猛暑もあったが、生徒たちは元気に終業式を迎えることができた。

教室でのホームルームで、担任から通知表を受けとった生徒は、「音楽を頑張った」「一人で片づけができるようになった」と1学期の感想を述べたり、2学期に向けた「計算ミス無くしたい」などと抱負を語ったりしていた。



担任から通知表をもらい興味深く見つめる生徒



上段：1学期の学習を映像で振り返る生



左段：笑顔で通知表を受け取る生徒